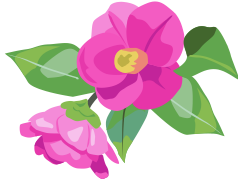


# 今月のことば

2013年 1月



「人は心に自分の道を思い巡らす。  
しかし、その人の歩みを確かなもの  
にするのは主<sup>しゅ</sup>である。」

聖書

箴言 16章9節

## 不安な時代に確かな歩みを

政権が変わって、行き詰まった世の中に明るい兆しが見えて来るのを期待する人は少なくないでしょう。時代は変わります。良い方に変わるのか、悪い方に変わるのか、実際どうなっていくのか、見通しを語ることすら難しい時代になって来ました。グローバル化が進み、国々、諸地域が複雑に絡み合っ、何事も自国の利害や価値観だけで決められなくなっていますし、他の地域の状況に影響されないでいるわけにはいなくなって来ています。局所的なことだけに精通していても、やって行けないし、全体像を捉え切ることは至難のわざです。自分の立ち位置、取るべき道が見えにくいため不安という立ちが、そこはかとなく漂っています。安定した、見通しのきく時代ならともかく、今のような時代にあっては、計画を立てることは容易ではありません。どんな計画を立てたとしても、結果がどうなるのか、だれもわからないからです。

「今月のことば」は旧約聖書の箴言<sup>しんげん</sup>に出て来ることばです。箴言<sup>しんげん</sup>は格言集のような書で、短いことばで真理を言い表して、実生活を安全に賢明に進めて行く上で鍵になるようなことばに満ちています。

年の始めに、また3月4月の年度替りを前にして、不安な気持ちで「自分の道を思い巡らす」人は多いでしょう。聖書は言います。「その人の歩みを確かなものにするのは主<sup>しゅ</sup>（神）である」と。この世界を、いや、宇宙万物を支配し動かしている方がおられます。聖書を通してその方を知り、その方に信頼して歩んで行くなら、その歩みは確かなものにされるのです。

みらい平キリスト教会はあなたのおいでを  
心からお待ちしています。